



# 美杉中学校だより

みんなが幸せになれる学校  
すすんで学び行動しよう  
ぎぶあっぴしない

第 24 号  
令和6年 3月 25日発行  
美杉中学校長

## 令和5年度も終わります

コロナ禍から解放されたこの一年間でしたが、みなさんはたくさんの「挑戦」ができましたか。「ほっ」とできる仲間になれましたか。

この一年間、日々の学校生活、行事を通して、みなさんの頑張る姿を見せてもらいました。しかし、自分たちが先頭に立ってということは少なかったかと思います。4月からは、12名の新入生を迎え、みなさんはそれぞれ学年も上がり、今までとは違った立場、責任が与えられます。2年生は、最上級生として、美杉中学校全体を引っ張っていく責任、1年生は、先輩として、新入生を引っ張っていく責任が加わります。もちろん、自分のことも、これまで以上にしっかりと取り組む必要があります。

新3年生となる2年生は、進路決定に向けた人生の中でも重要な1年間になります。おそらく、みなさんにとっては初めての大きな選択を迫られることとなるでしょう。早い人はすでに準備を始めています。何事も準備を始めるのに、早すぎることはありません。その場になって慌てなくてもいいように、しっかりと準備を進めてください。新2年生となる1年生は、少ない人数の中で、上級生や周りの人に頼って甘えていることはありませんか。中学校の3年間はあっという間に過ぎていきます。「まだ2年生だから」と言っているうちに時間は過ぎていきます。1学期の始業式で、現2年生に向けて話したことを覚えていますか。2年生は一般的に「中だるみ」「中腐れ」の学年と言われます。中学校生活にも慣れて、受験などのプレッシャーもなく、目標を見つけにくいことから「なんとなく」1年間を過ごしてしまいがちです。そうならないように、しっかりと目標を定めて、ほどよい緊張感のある生活を心掛けてください。

これは、美杉中学校だけのことではないかもしれませんが、自分の思いどおりにならないことや、苦手なことから逃げている人がいます。「勉強が苦手」「運動が苦手」「友達とのコミュニケーションが苦手」など、誰しも苦手なことはありますが、いつか、どこかで克服していかなければならないことです。以前「学校だより」の中で「学校は間違ふところだ」という詩の一部を紹介しましたが、みなさんは中学校で間違えて、失敗して、社会へ出ていきます。まずは、自分の苦手なことに「挑戦」してください。一人ひとりが、この1年間を、しっかりと振り返り、4月に気持ちも新たに良いスタートが切れるよう明日からの春休みを過ごしてください。

### 《保護者、関係者、地域のみなさんへ》

本校への温かいご理解とご支援をいただき、本当にありがとうございました。今後も、子どもたちの健やかな成長のために、職員一同取り組んでまいります。いままでと変わらぬ、ご理解とご支援よろしくお願ひいたします。

## 令和6年度 前期 生徒会役員 よろしく

3月15日(金)。新年度前期生徒会役員選挙を行いました。立会演説会では、4人の候補者からは、「楽しい学校づくりに、生徒全員で取り組みたい」という言葉がともに述べられました。生徒全員で取り組む、学年の壁のない学校を目指し、それぞれの役割に積極的に取り組んでほしいと思います。

会長 坂岡・ 副会長 赤堀 執行委員 岡田・ 瀧本